

教科名	保健体育	科目名	体育
対象	全スタイル	年次	3年
添削指導回数	3	面接指導時数	15
単位数	3	備考	学校設定科目
教科書・補助教材等	現代高等保健体育 (大修館書店)、Active sports (大修館書店)		
学習の目的	(1)運動の楽しさや喜びを味わいながら、スポーツ倫理についても身につけさせる。 (2)自らの資質能力に応じた運動課題を見つけ、課題解決する能力を身につけさせる。 (3)自らの健康や安全に留意し、自己管理しながら運動に取り組める能力を身につけさせる。		
学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
前期	4	バドミントン ※体育館の使用ができない日は座学【体育理論】を行う	・バドミントンを通して、健康の維持・増進、体力の向上などに努め、スポーツで身体を動かした後の爽快感・達成感等の充足に努めると共に、ダブルス、シングルスゲームが出来る様に行きたい。 【スポーツの歴史や文化的特徴、現代のスポーツの特徴について理解を深める。】
	5		
	6	ソフトバレーボール ※体育館の使用ができない日は座学【体育理論】を行う	・ソフトバレーボールについて、運動の楽しさや喜びに触れ、その技能を身に付けることができるようにする。またルールや作戦を工夫して、集団対集団の攻防によって競争することに楽しさや喜びを味わせる。 【スポーツの歴史や文化的特徴、現代のスポーツの特徴について理解を深める。】
	7		
	8		
	9	バスケットボール ※体育館の使用ができない日は座学【体育理論】を行う	

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標
後期	10	バスケットボール ※体育館の使用ができない日は座学【体育理論】を行う	・バスケットボールはオフェンスとディフェンスが目まぐるしく交互に入れ替わりコートにいる全員が攻撃者であり防御者でもある球技種目である。従ってまずは瞬発力、持久力や状況に応じた素早い判断力を養わなくてはならない。それらの向上とバスケットボールの基礎技能を身につけ、チーム競技としての協調性、対人競技による闘志面の向上をテーマとする。 【スポーツの歴史や文化的特徴、現代のスポーツの特徴について理解を深める。】
	11		
	12		
	1	卓球 ※体育館の使用ができない日は座学【体育理論】を行う	・卓球の技術を習得する過程を通して、体力の向上を図り自己の身体に興味・関心を持ちコントロールし改善できる能力を育成する。自己の能力を把握し、達成するための手段、方法を学び、主体的に練習を組み立てるようにする。 【スポーツの歴史や文化的特徴、現代のスポーツの特徴について理解を深める。】
	2		
	3		
学習上の留意点		(1)用具の点検や、生徒の体調の変化を確認し安全に留意する。 (2)参加している生徒と参加しない生徒が出ないように、全体を見ながら指導する。 (3)種目特性や男女差を考慮して活動を行う。	
評価の観点			評価方法
主体的に学習に取り組む態度	自ら進んで運動に参加しているか。また、仲間と協力して活動しているか。		(1)授業への参加の仕方や意欲、態度 (2)技能テスト (3)レポート
思考・判断・表現	状況に応じて自ら判断し行動できたか。また、能力に応じた目標が立てられたか。		
知識・理解	運動のルールなど基礎的な内容を理解できたか。		